



取材協力

本冊子を作成するにあたり、多くのみなさまにご協力をいただきました。

インタビューにご協力いただいたみなさま
大阪府立桜塚高等学校
大阪府立千里青雲高等学校
大阪府立刀根山高等学校

大阪府立豊中高等学校
親学習ファシリテーターのみなさま
特定非営利活動法とよなかESDネットワーク
(敬称略・五十音順)

とよなかライフデザインBOOKのデジタルブックは
豊中市のホームページでご覧いただけます。

豊中市 ライフデザイン

検索

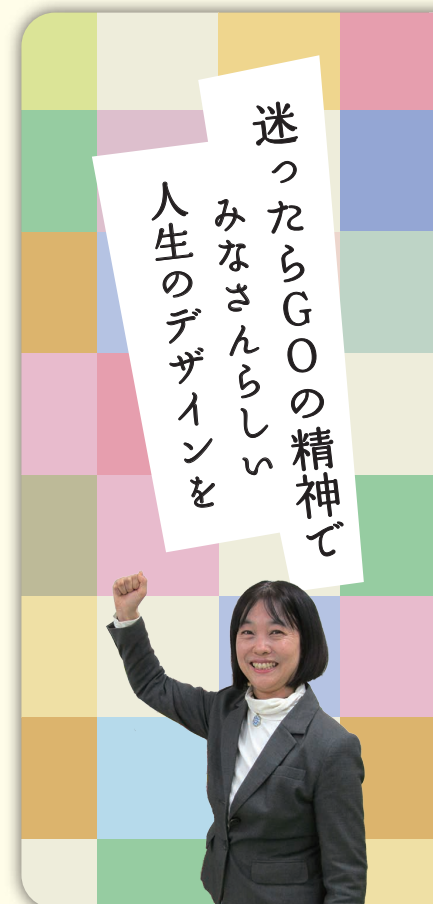
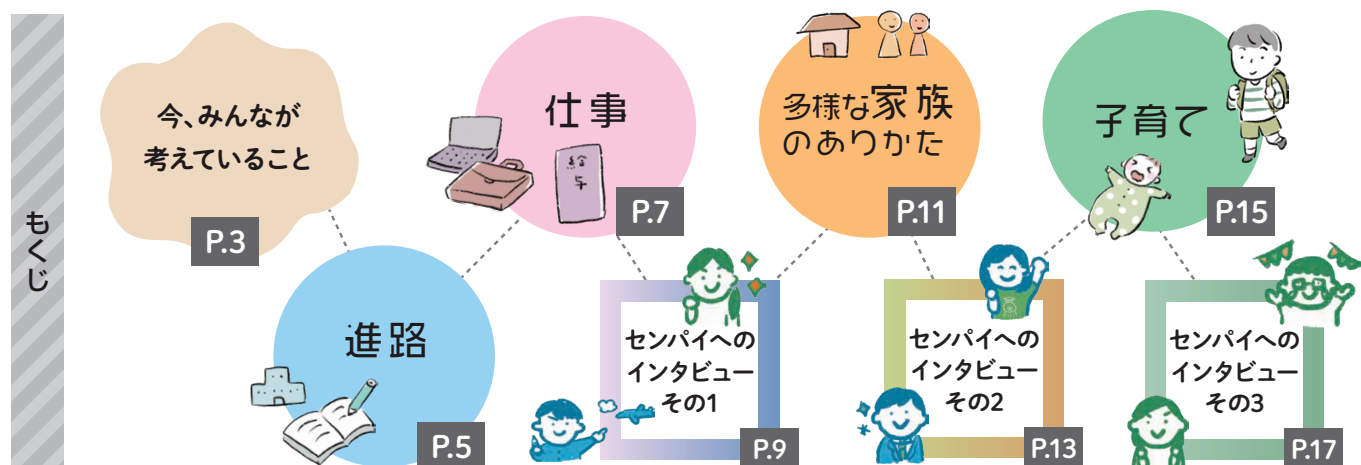


豊中市こども未来部こども政策課
〒561-8501 大阪府豊中市中桜塚3丁目1番1号
Tel:06-6858-2258

発行:令和6年(2024年)3月



ライフデザインについて考えてみよう



みなさんは幼い頃の将来の夢を覚えていますか？
成長した今どんな夢を抱えていますか？

どんな仕事が自分に向いているのか、得意なことや好きなこと、あるいは少なくとも苦ではないと思える職業の選択肢として何を考えていますか？
若いみなさんの将来を見据えた悩みは真剣なものだと思いますが、大人からみると無限大の可能性があり…うらやましさを感ずります。

これまで入園、入学、卒業といったライフイベントを歩んでこられたと思いますが、今後も進学、就職、転居、転職、結婚、出産、育児、離別など様々なライフイベントのなかから自由あるいは必然的に選択して、一人ひとり異なる人生をライフデザインすることになります。
自由には責任が伴うため、時に葛藤を感じられると思いますが、失敗しても大丈夫。誰でも何歳になっても失敗を経験しつつ成長しているのですから。辛い経験もあるかもしれませんが、でもその経験を通して、誰かが辛い時に親身に寄り添える優しさや、乗り越えることで小さな自信が生まれたり…災い転じて福となると信じて前を向いて歩んでみましょう。

学ぶことも、働くことも何歳からでもやり直せます。迷ったらGOの精神でチャレンジして、みなさんらしい人生をデザインしてみませんか。私たち大人は陰ながら応援しています。

平松紀代子先生

滋賀大学教育学部准教授であり、本冊子の監修とコラムを担当。
家族社会学の分野において、家庭経営や子育て支援等を専門に研究。
現在は大学で教員養成に携わり、ライフデザインする力を育むための講座や、キャンパス内にある地域の親子の子育てひろば「かんがるーむ」を運営するなど、幅広い活動を展開している。著書は「家族を読み解く12章」や「ワーキングママの本音」等多数。

LIFE DESIGN DATAに座談会の声を掲載！



とよなかライフデザインBOOK座談会

さまざまなライフイベントに関する「LIFE DESIGN DATA」について、豊中高校の自治会のみなさんに協力してもらい、データを見て感じたことや自分たちの将来について語る「とよなかライフデザインBOOK座談会」を実施しました。

データの結果に共感したり、将来に対する不安や期待、将来起こるだろう場面での選択など、一人ひとりの考えを話したりすることで、お互いの考えの違いや共通点を見つけながら、ライフデザインについて考えました。

5ページ以降のLIFE DESIGN DATAで座談会での意見や気づきを掲載しています。

高校生のリアルな声を掲載！

豊中市は、高校生のみなさんが将来のライフデザインを、希望を持って描くことができるよう、自分の将来を具体的にイメージし、主体的に考える機会を提供するための“働くこと、結婚、妊娠・出産、育児等について考える”講座やワークショップを実施しています。

3ページの「今、みんなが考えていること」、6ページ以降の「人生のセンパイから学んだこと」、裏表紙の「ライフデザインを考えてみて気づいたこと」は、講座等を受講した高校生のリアルな声を掲載しています。



今、みんなが考えていること

高校生のみなさんのアンケートより

進路

働く

子育て

結婚・家族

将来が分からないから楽しみでもあり、不安でもある。

将来、お金に困らないかな。

自分が何に興味があるのか分からない。

考え方が違う人たちとも上手くやっていけるのかな。

自分の可能性を信じ続けるためにはどうしたらいいだろう。

海外に行き、様々な経験をしたい。

今できることを頑張りたい。

将来どんな仕事をして、どんな暮らしをしていきたいか、決まっていなくて不安だな。

親の考えを聞き入れてしまいそうで、将来やりたいことを親に相談しづらい。

自分が決めた道を最後までやり遂げられるかな。

「挑戦」と「安定」が良いバランスになるような進路を探したい。

自分に合わない仕事をずっと続けなくていけなくなったらどうしよう。

就いた仕事は自分に向いていなかったらどうしよう。

今、やりたいと考えている仕事は、本当にしたいことなのだろうか。

金銭面以外の働く目的を見つけられるかな。

働く目的？

お金を稼ぐのってどれくらい大変なのかな。

自分のやりたいこと、興味があることを仕事にできたらいいな。

世の中にはどんな仕事があるだろう。

自分に合っている仕事って、どうやって見つけるのだろう。

子育てと仕事の両立はできるかな。

育休や産休などの制度も詳しく知りたい。

育児休業を本当に取得できるのかな。

自分の時間も大切にしながら子育ても楽しむことができるかな。

どんな生活になるかわくわくする。

子育てがどれくらい大変なのか、分からない。

自分が親になる想像ができないな。

子どもは欲しいけれど、責任もって育てられるかな。

周りの人に子育てを助けてもらえるかな。

パートナーと一緒に子育てができるか心配だな。

もし結婚や育児をすることになったら、うまくできるか不安だな。

独身のライフスタイルも知りたい。

自分にあつた結婚をする上で覚悟すべきことってあるのかな。

結婚についてまだ考えたことが無かった。

パートナーの決め手ってなんだろう。

パートナーと上手くやっていけるのかな。

自分にあつた性格の相手が見つかるかな。

相性のいい人を見つけたい。

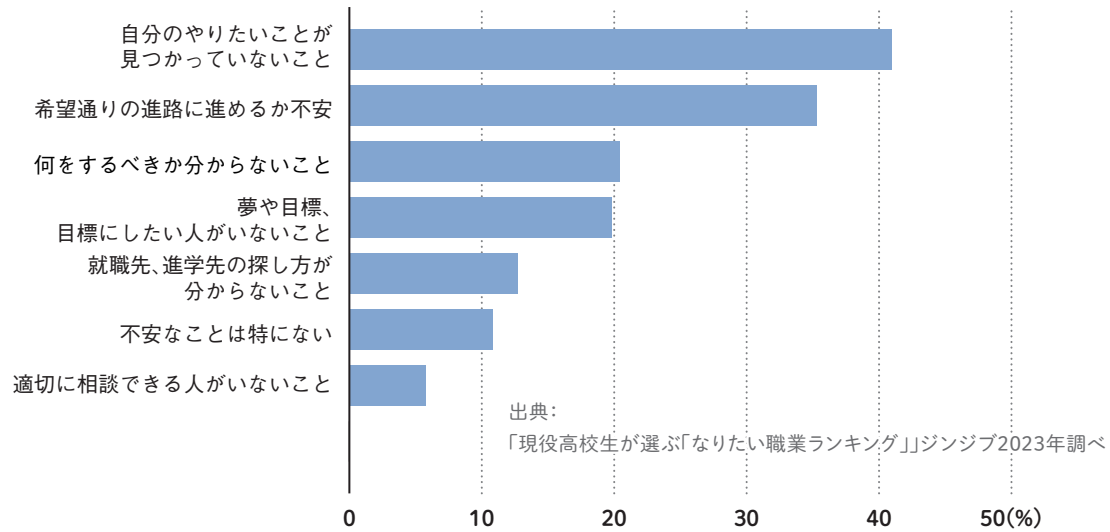


自分の進路について考えてみよう

Q

LIFE DESIGN DATA

就職活動や進路選択で不安なことは？

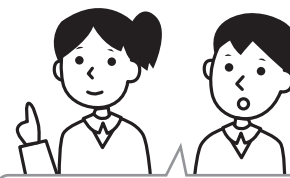


ドラマを見たことがきっかけで「この職業かっこいいな！」と思って、その仕事に就くことをめざすようになった。



いろいろと経験することで、進路希望も変わってきたよ。

なりたい職業に就くために大学に行きたい！



まだ目標に向けて、どう頑張ればよいか分からないな。

やりたいことはあるけど、それを学べる大学が限られているから、進路を見直すべきか迷っている。

ライフデザインを考え始めたあなたへ 平松先生からのメッセージ

日本では18歳で成人となりますが、10代のみなさんの目に映っているのは、社会システムの一部に過ぎません。保護者や知人が携わる職業や、みなさんが生活の中で購入する食品、雑貨、ゲーム等の直接関わるモノの他にも、知らないけれど魅力あふれる職業や資格が無数にあり、世界的シェアを誇る産業や人々の生活に欠かせないサービスが本当にたくさんあります。

知らないことが多いまま進路選択することは、限られた選択肢か

ら選ぶことを意味します。今は視野を広げてみませんか。インターネットを介して視野が広がることもあるでしょうが、身近な人から話を聞いたり、機会があればボランティア活動をしたり、様々な体験をすれば視野が広がると思います。

世界には高校卒業後すぐに進学・就職せずギャップイヤーと呼ばれるモラトリアム期間に留学やインターンシップを経験してから、学びたいことを見定めたり、学費を稼いでから大学に進学する国もあります。今の日本でみなさんがギャップイヤーを体験することはハードルが高いでしょうが、こうしたライフデザインのモデルが世界にはあることをまずは知って、様々な体験を重ねて視野を広げてみましょう。

人生のセンパイから学んだこと

自分にはいろいろな可能性がある！

もっと楽に考えていこうと思った！

大人の人みんな悩んできた時期があつて、大人になつてからも悩むんだね。

自分が後悔しない選択をしたい！

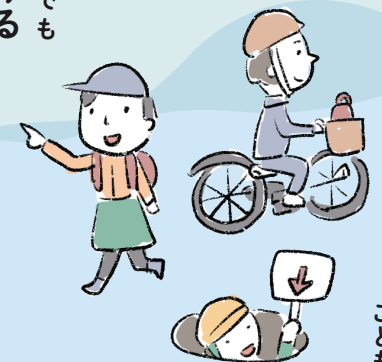
自分で考えて選択肢を増やしていくことが大切だと思った。

今できることを精一杯やるのがあとに人生に影響すると思った。

いろんな出合いを大切にしたい。

何かしたいと少しでも思ったら、やってみることが大切なんだ。

人生は思い通りにいくことが少なく、どう乗り越えるかが大切なんだ。



人生の転機となるタイミングは、人それぞれなので、自分のペースで考えればいいんだ。

偶然の出会いが自分を大きく動かすこともあるんだな。

将来について漠然としか考えてなかったけど、今から見つけていけばいいんだね。

※ライフデザイン支援講座を受講した高校生のアンケート結果より抜粋しています。

ライフデザイン支援講座@刀根山高校 「働くことと子育てについて」

大人になることや、仕事と生活(結婚・妊娠・出産・育児等)について考えるきっかけをつくる講座です。

子育てしながら働くママやパパをゲストに迎え、多様な生き方や働き方、子育てについて語ってもらいます。

「将来に対して不安がいっぱいの中で、人生は何度もやり直せること。困ったら、誰かに頼ればいいんだということ。そのためのつながりをつくっておくといい。たまには休んでもいい。」そんなメッセージをゲストのみなさんが伝えてくれます。



ゲストのみなさんのエピソードトークの様子

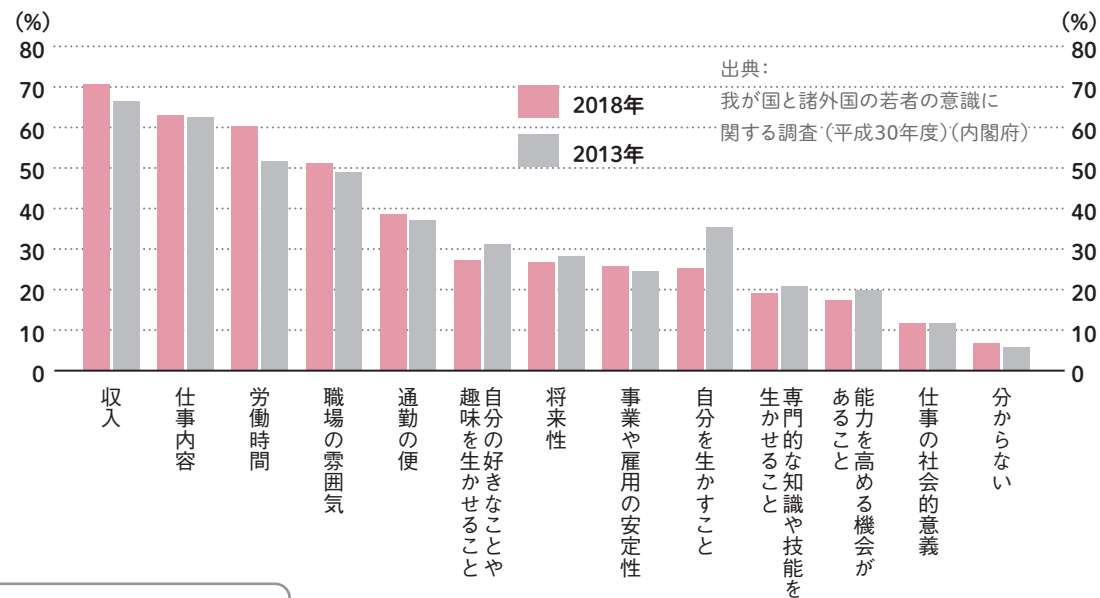
仕事について考えてみよう



Q

LIFE DESIGN DATA

仕事を選ぶ際に、重視することは？



どんな仕事を選ぶことが自分にとっての幸せなのか？と悩みます。そもそも自分にとっての幸せって何だろう。

親に大学進学の話は相談するけれど、やりたい仕事は自分で決めたい！

やりたい仕事と、結婚や子育てなどのライフイベントとのバランスをどのようにとればいいのか、難しそう。

私は、なりたと思う仕事の収入を調べたりしているよ！

就きたい仕事は決まっているけれど、体力的に負担が大きい仕事なので、心配。

自分がやりたいと思っている仕事は、実現性が低いと思うので、相談しづらい。

自分がやってきたことを生かせる仕事に就いて、さらに伸ばしていけるといいな。

ライフデザインを考え始めたあなたへ 平松先生からのメッセージ

果たして自分にどんな仕事合っているのか・・・分からない人も多いかもしれません。身近な人から話を聞いたり、就職支援サイトを閲覧して多様な業界があることを知ることが最初の手掛かりになるでしょう。これから、進路を考えて進学先や就職先を選択することになりますが、選択肢の幅を少しでも広げて欲しいと思います。それを可能とするためには、日頃からニュースや新聞を読んで社会や世界の動きに関心を持って情報のアンテナ

を張ってみませんか。

情報のアンテナの感度を高めて生活していれば、まだ気づいていない何かに興味・関心を持ったり、自分が好きなことを見つける近道になると思うのです。私は中高生の頃は歴史も数学も苦手でした。ところが大学生の時に「子育て」に関心を持つと、江戸時代や明治時代に子どもはどんな生活をしていたのか知りたくなり、歴史を学ぶことが楽しくなりました。さらに、現代の親の子育て意識を調査したいと思えば、統計学も頭に入りました。好きな何かを見つけると、好きな世界が広がっていく楽しさをみなさんにも味わってほしいと思います。

人生のセンパイから学んだこと

自分の好きなこと、興味があることを仕事にできたらいいな。



将来どんな仕事をしているか想像つかないけれど、とりあえず、やりたいことはやってみよう！と思った。

将来、新しくできる職業もあるかもしれないから、今ある選択肢がすべてではないんだね。

意外な仕事が自分に合っているかもしれないから、広い視野をもって考えたい。



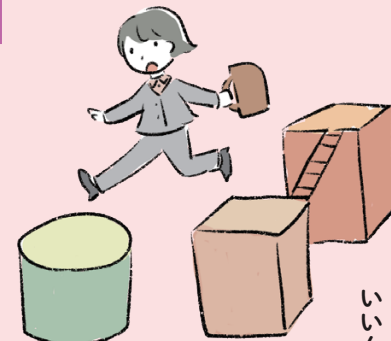
今やっていることが後々の仕事に繋がるかもしれないから、今できることを頑張りたい！

人生の先輩たちも、いろんな経験をして今があることが分かった。自分もいろんな挑戦をしたい！



自分に合わないと思ったら、転職するのも一つの考え方かなと思いました。

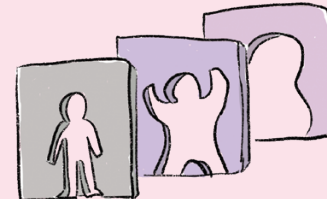
例えば転職することになっても、自分のやりたいことをする方が幸せなんだと思う。



一度ついた仕事に縛られなくていいんだ！

自分がどのような仕事に就きたいのか、今から色々調べて見つけていきたい！

家庭は持ちたいから、家族を養える仕事につけたらいいな。



人生の先輩のお話を聞いて、いろんな働き方があるんだなと思いました。



※ライフデザイン支援講座を受講した高校生のアンケート結果より抜粋しています。

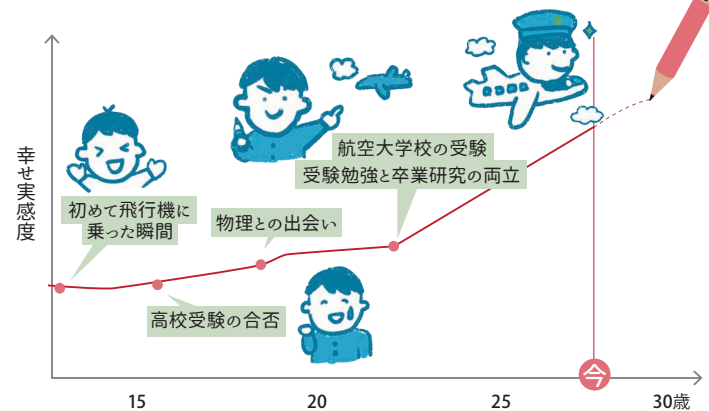


したら りきほ
設楽 力歩さん

大学卒業後、航空大学校で航空機操縦の幅広い知識と高い技能を学ぶ。現在は株式会社ジェイエアに入社し、パイロットとして活躍中。月60-70便に搭乗し、国内の様々な空を飛んでいる。趣味はランニングなど、体を動かすこと。うまくリフレッシュの時間を作るように心がけている。

なりたい自分になるために
徹底的に手段と道筋を考える

わたしの人生グラフ



わたしのキーワード

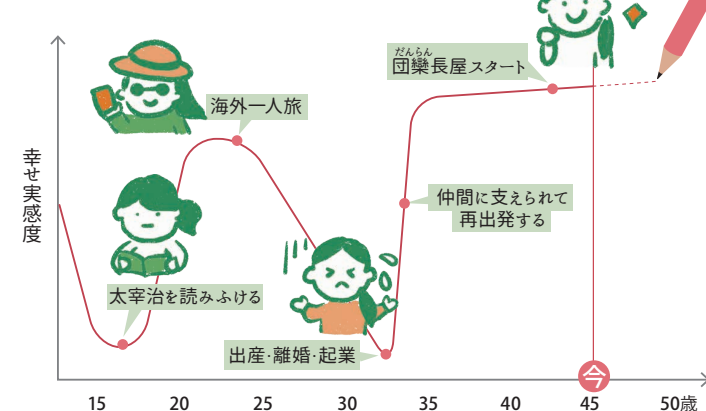
まず行動！ メリハリをつける

夢への戦略的アプローチ



経験が新しい夢をつくる
夢もそれを叶える方法も1つじゃない

わたしの人生グラフ



わたしのキーワード

自分と向き合う 人とのつながり

夢の叶え方は多様



ふちがみ ももこ
測上 桃子さん

大学在学中からヨーロッパやアジアなどを旅して、オランダには2年間移住。帰国後は様々な職業を経験し、現在は自身の子育ての経験を生かして乳幼児保育や学童保育、子ども食堂等、子どもを中心とした多世代交流の活動・拠点づくりを行う「団楽(だんらん)長屋プロジェクト」の代表として活躍している。

相談会に参加するなど、実際に行動して調べた結果、航空大学校へ進むことが、自分にとって夢を叶える可能性が最も高いと考え、受験を決意しました。同時に様々なリスクも検討し、大学院も受験することにしました。大学の友人達が次々に就職活動を終えて卒業研究に集中する中、自分だけが航空大学校受験、大学院受験、卒業研究に効率よく取り組まねばならず、心身ともにつらいものがありました。しかし、限られた期間だけだと思い、一生懸命に取り組みました。

実現できる可能性を
最大限に高めるために

小学生の時、初めて乗った飛行機が飛んだ瞬間「すごい！」と感動し、パイロットに憧れました。現実的な進路としては考えられず、高校・大学では興味があった物理学の勉強に没頭しました。転機は大学3年生で理系の会社のインターンシップに参加した時です。何か違和感を感じ、改めて自分の将来を考えると、幼い頃に憧れた「パイロット」が思い浮かびました。そこからはまず行動です！情報を集め、親や恩師にも相談した結果、本気でパイロットをめざそうと思うようになりました。

幼い頃の夢が
本気になったものに

夢を実現することができ、今はパイロットの仕事にとってもやりがいを感じています。ただ、ストイックな性格なので仕事はかりにならないよう、仕事とプライベートのメリハリはしっかりとつけるように意識しています。

細かく目標を設定し
頑張っていく

高校生の頃の夢は2つありました。1つは「サクセスプレイヤー」です。音色に魅了され、部活動をきっかけに自分でも演奏するようになりました。今でも趣味で仲間と演奏し、楽しんでいます。もう1つは「文筆家」です。自分の気持や考えを言語化することが好きだったので、めざそうと思いました。今でも考えを整理する時などに、「書く」ことは続けていて、仕事にも役立っています。どちらも「職業」にはなっていませんが、今も好きなことを続けられています！

夢を叶える手段は
仕事だけじゃない

高校時代を振り返ると「暗黒時代」でした。自分は「何者かになれる」という自信を持つ一方で、同年代の活躍を横目に「何者でもない」ことへの焦燥感を抱えていました。自分がどうあるべきか、どうありたいか。日々悩みながら、好きなことや向いていると思うことをいろいろやってみる中で、失敗しながら、徐々に等身大の自分を受け入れられるようになりました。例えば、海外への一人旅も力試しのひとつでした。そんな経験の数々がとても大事だったと今は思っています。

悩んだり、失敗したりした
経験が今に生きている

高校生の
みなさんへ

将来の職業や生き方はイメージしにくいと思います。今はなりたいもの・好きなものを大事にしなが、その時にしたいことを一生懸命してください。そして夢を現実のものにできるよう、将来について考えていくといいかもしれません！



高校生の
みなさんへ

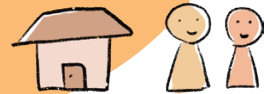
人生は計画通りに進むことばかりではありません。何が起きてもいいように、しっかり今やりたいこと、やるべきことを日々やることが、これからつながります！



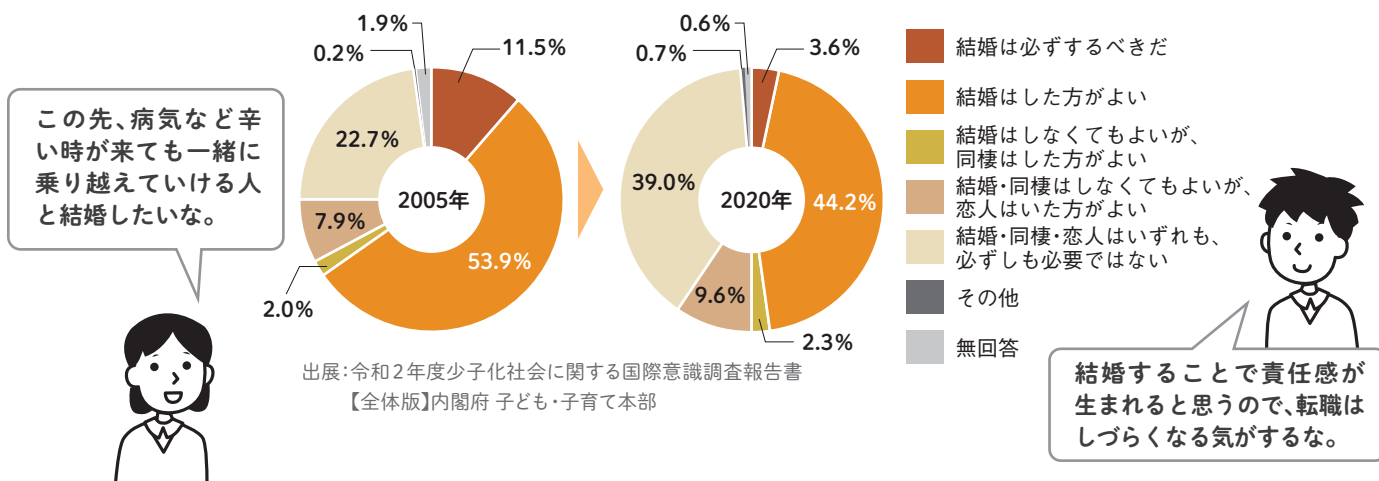
私が子どもの頃は地域に面白い大人がたくさんいて、そのような人達に育ててもらいました。しかし、娘を生み育てる中で、今は地域の関わりが少ないことを痛感しました。娘にも地域とつながる面白さや大切さを味わってほしいと思ったことが、今の「団楽長屋プロジェクト」を始めたきっかけです。その根っこには、これまでの経験や出会いで感じた「想い」があります。「自分が大変な時に地域の人にたくさん助けってもらったので、その恩返しとして自分も困っている人を助けたい。」これが新たな夢へとつながっていったと感じています。

経験や出会いが
新たな夢へとつながる

結婚やパートナーについて 考えてみよう



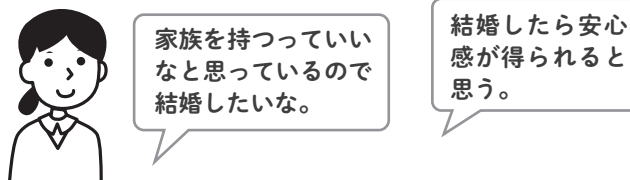
Q LIFE DESIGN DATA 結婚に対する考え方



Q LIFE DESIGN DATA 結婚することの具体的な利点は？

- 2021年
- 1 自分の子どもや家族をもてる
 - 2 精神的な安らぎの場が得られる
 - 3 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる
- 1997年
- 1 精神的な安らぎの場が得られる
 - 2 自分の子どもや家族をもてる
 - 3 現在愛情を感じている人と暮らせる

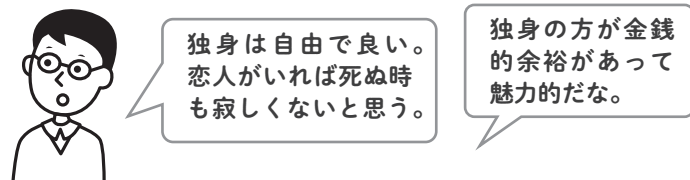
出典：第16回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）



Q LIFE DESIGN DATA 独身生活の具体的な利点は？

- 2021年
- 1 行動や生き方が自由
 - 2 家族を養う責任がなく、気楽
 - 3 金銭的に裕福
- 1997年
- 1 行動や生き方が自由
 - 2 友人などと広い人間関係が保ちやすい
 - 3 金銭的に裕福

出典：第16回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）



ライフデザインを 考え始めたあなたへ 平松先生からのメッセージ

今から100年前明治時代の民法では家父長に権威がある男尊女卑、長男が大切にされる長幼の序があり、親が進路や結婚相手を決め子どもを産み育てることは家の存続のために必須とされていました。現在は男女平等な社会となり、これから結婚する/しない自由や、好きになった人と結婚する自由も当たり前

になっています。また、婚姻前に同棲したり、婚姻後も通称として旧姓で仕事を続ける人も増えています。世界では多くの国で夫婦別姓が法的に認められている潮流のなかで、遠くない将来日本でも夫婦別姓が認められる日がくると期待しています。

2023年の調査ではLGBTQの当事者が9.7%で、AB型の人と同程度の割合だそうです。そう考えると、男性と女性の組み合わせにこだわらない、もっと自由なパートナーシップ制度が普遍的なものとして社会に受け入れられる日が来ることにも期待を寄せています。

人生のセンパイから 学んだこと

女性、男性の性別による固定観念にとらわれず、自分の好きなように生きていきたい。

みんなそれぞれ生き方には多様性がある。

結婚も様々なカタチがあり、やりたいことと結婚生活との両立もできることが分かった。

結婚生活、面白そう！と思った。

将来は不安だけど、素敵なパートナーを見つけて幸せな家庭をつくりたい。

身近な人でも価値観は違うから、尊重し合うことが大切だと思った。

パートナーができればしっかりと話し合っていきたいと思った。

パートナーと上手く関係をつくっていけることが大事なんだ。

就職→結婚→子育てが全てではない。

結婚すると育児や仕事との両立が大変だなあと考えた。

結婚することで責任感が生まれると思うので、転職はしづらくなる気がするな。

結婚は必ずするべきだ

結婚はした方がよい

結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい

結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい

結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない

その他

無回答

※明日の親のための講座、ライフデザイン支援講座を受講した高校生のアンケート結果より抜粋しています。

明日の親のための講座@桜塚高校 「わけあう」

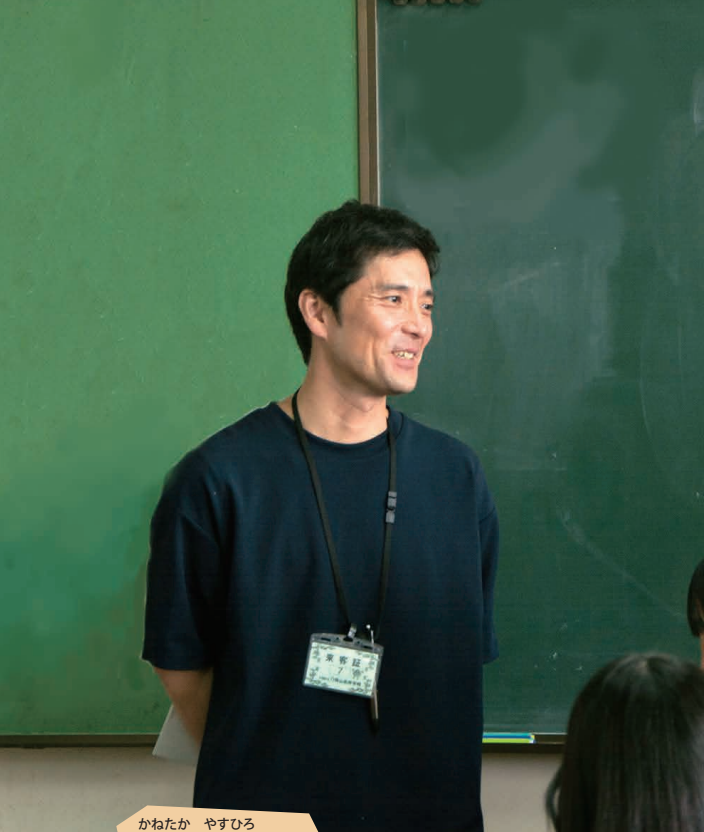
生徒自身が、子育て中の家族とその友人になりきり、ロールプレイ（役割を演じる）を通して、自分と家庭・社会のつながりや親子の関わり方を考えるきっかけをつくる講座です。

様々な登場人物が設定され、問題にどう対処していくのかオリジナルストーリーを考え、生徒自身がそれぞれの登場人物を楽しく演じます。

家族のありかたや子育ての難しさ、子育てを協力して行うことの重要性などについて、気づきを得られる機会となっています。



ロールプレイの様子

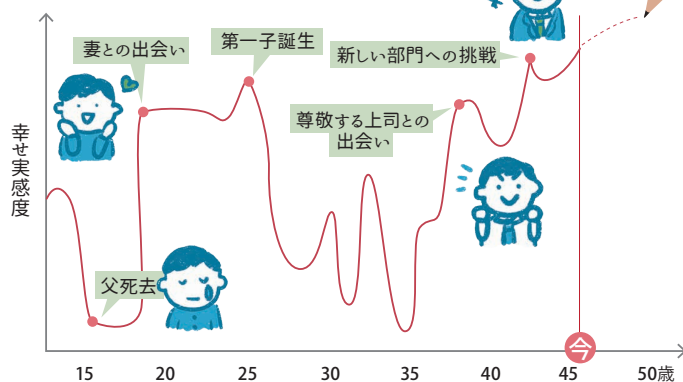


かねたか やすひろ
金高 康博さん

通信インフラ企業で働く会社員、4児の父。40歳を過ぎてから自分がやりたいことを考え直し、社内で180度異なる部門への異動を志願して挑戦中。
子育てでお世話になった豊中に何か返せたらと子ども学習支援ボランティアなどを行っている。

「自分の世界を広げてくれる」 そんな人達との出会いで今がある

わたしの人生グラフ



わたしのキーワード

視野を広げる

変化を楽しむ

つながりを大切に

小さな行動の積み重ね

子どもが誕生して、優しい夫・かっこいい父になろうという想いを持ちました。それと同時に、子どもを通じたつながり・広がりを実感するようになりました。
子どもがいることで夫婦はもちろん、同居している母も元気になる、地域の方々より広くつながることもできました。自分もこうやって生まれ、育ててもらって今があると実感でき、それをまた子どもにつないでいきたいと思っています。



高校生のみなさんへ

自分の選択を正解にしていくのは自分です。
もし違うなと思った時は**大人になっても新たな選択はできます。**
「人生の選択」とかんだり先を考えすぎず、**自分の心の小さな声を大切に、まずはやってみる。**
そうして生まれた変化や気づきと向き合い、彩り多い高校生活を！

人生最大の転機は「妻との出会い」です。妻の性格は私とは正反対ですが、だからこそ固定観念に縛られていた私の肩の力を抜き、視野を広げ、自然体でいられるようにしてくれる大切な存在です。
仕事で、これまでと全く異なる部門にチャレンジをするかどうかを迷っていた時も、妻にたくさん相談をしました。妻はずっと私の話を聞き、私自身が納得して結論を出すまで急ぐことなく待っていてくれ、出した結論を傍で応援してくれました。いつも心を楽にしてくれるパートナーです。

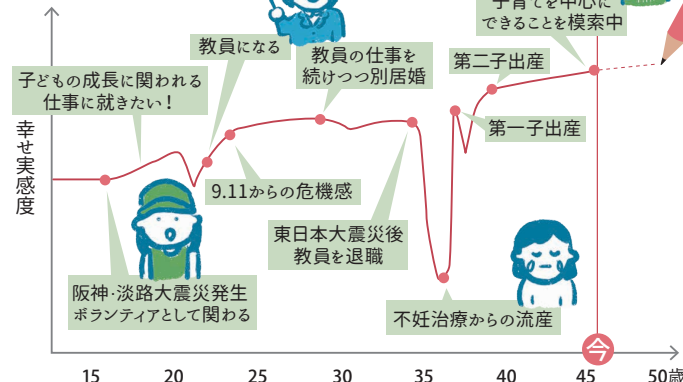
視野を広げてくれる
パートナーとの出会い

変化を嫌がるよう
楽しんでいきたい

もともと、自分がつくってきた世界を守るより、新しい人・価値観・視野を取り入れ、起こった変化を楽しむタイプです。妻や尊敬する上司との出会いによって「こんなふうに生きていいんだ」「こんな働き方もあるんだ」と視野が広がったように、これからも変化を楽しんでいきたいです。
そのような変化や気づきを大切に、まずはやってみることで、小さな「D.O」を積み重ねていきたいと思っています。

選択肢は無限大、 今やりたいことを大切に

わたしの人生グラフ



わたしのキーワード

全力で取り組む

自分達らしい形

対話の大切さ



みずしま ふみこ
水島 史子さん

高校時代からの夢だった「小学校や特別支援学校の教員」の仕事に精力的に取り組んでいたが、東日本大震災をきっかけに退職。現在は2人の子育てをしながら、NPO法人ママの働き方応援隊の事業「赤ちゃん先生プロジェクト※」に参画中。
※赤ちゃんとそのママが教育機関や高齢者施設・企業行政などに訪問し、赤ちゃんに触れ合うことで様々な学びや癒し、感動をともにするプログラム。

今の思いを大事に、自分らしい
結婚 家庭の形を選ぶ

パートナーとは大学の頃からの付き合いでしたが、私の就職をきっかけに遠距離恋愛になりました。そんな中、大規模なテロや震災が発生し、パートナーに何かあった時に「つながりや安心感がほしい」と結婚を決めました。ただ、お互い仕事に集中していたので、2人の気持ちや生活を尊重して、「別居婚」という選択をし、結婚後も変わらず、仕事や社会活動に没頭していました。
人生いつ何が起きるかわかりません。今やりたいことを大切に、全力で取り組めたことで、その後の人生を見据えて決意した退職も前向きに考えられたと思います。

高校生のみなさんへ

いっぱい迷っていい、いっぱい悩んでいい、寄り道したっていい。やりたいと思うことは**時期を逃さずやってみたらいい。**でも、**心と体の健康は大切にしてください。**
今は結婚も仕事もいろいろな形があって、自由に選ぶこともできます。**みんなが作って、いってもいいんだよ！**

今は、家庭や子どものことを最優先で考えています。我が子の成長を楽しむ中で、様々なことを感じています。例えば、命の儚さや、生まれてくる奇跡、そして言葉が話せない赤ちゃんも一人の人間として尊重すべき存在なのだということ、小さな子どもに対しても、ちゃんと聞いてちゃんと話すとが、とても大事だと感じています。
自分にとっての「大事なことは、常に変化し続けています。これからの経験を生かして社会参加を広げていきたいです！」

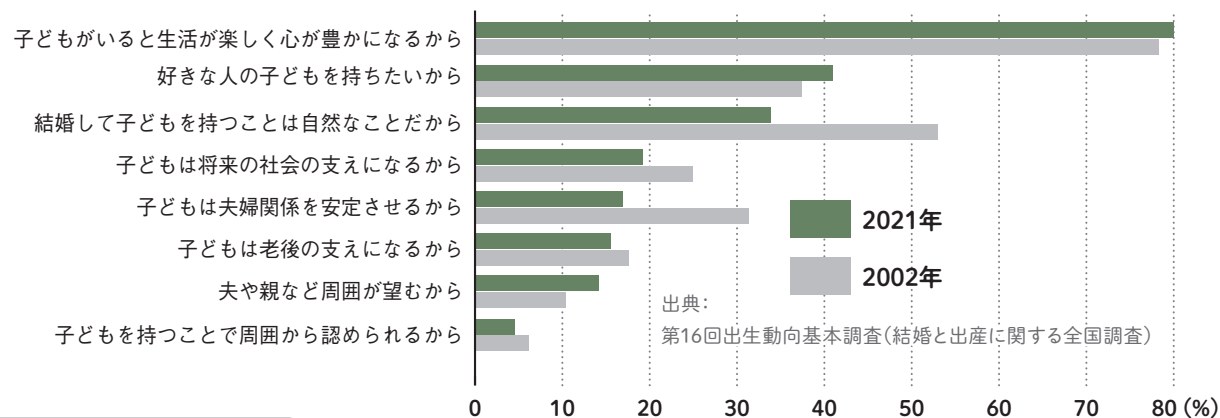
ボランティア活動を
きっかけに、教員の道へ

対話しながら子どもたちの
成長を見守りたい



子育てについて考えてみよう

Q LIFE DESIGN DATA 子どもを持つ理由

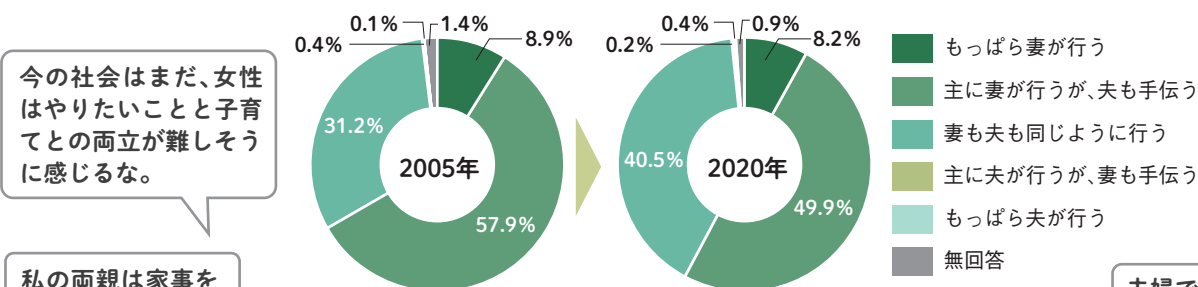


友だちと子どもの名前や、将来欲しい子どもの人数の話をするよ。

子どもが大きくなればまた働ける。自分がやりたいことへの関わり方はいろいろあると思う。

子育てには終わりが無い。自分の人生も楽しみたいので子どもを持つことに不安がある。

Q LIFE DESIGN DATA 小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割についての考え方



今の社会はまだ、女性はやりたいことと子育てとの両立が難しそうに感じるな。

私の両親は家事を分担しているよ。

夫婦で家事や育児をするのは当然だと思う。

ライフデザインを 考え始めたあなたへ 平松先生からのメッセージ

漠然と結婚したい、あるいは結婚にこだわりはなく1人でもいい、単身のままシェアハウスで人と関わりたいかなという価値観の方もおられると思いますが、みなさんはどんな人生をイメージされていますか。経済的にも精神的にも家族がいると家計と家事の担い手がふえるので心強い面があるといえますが、家族のカタチは自

由です。不妊に悩んだり離婚に至ることもあるかもしれませんが、パートナーや子どもがいてもいなくても、自分らしい人生を歩んでいきましょう。

私は高校生の時にpricelessという言葉を引き、意味を調べましたが、値段がつけられないほど価値があるという意味がよく分かりませんでした。親となりわが子の存在がまさにpricelessだと感じました。このようなpricelessな存在を慈しむ感情をみなさんにも味わってほしいと思います。もしかすると養子縁組や里親制度があなたにpricelessな体験をさせてくれるかもしれませんね。

人生のセンパイから 学んだこと

子どもと接する楽しさや大変さを学ぶことができ
**子どもに関わる
仕事により興味が湧いた。**



子育てに苦悩はあるけれど、
**子育てによって
得られる経験も
大きいよね。**

子どもに癒やされて辛いことがあっても少しでも元氣になれそう。



育児より仕事を選びたいと思っていたけれど、どちらかではなく両方選択してもいいんだね。

子育てをする中で困ることが絶対に出てくると思うけれど、
**助けを求められ
るかが不安だな。**

HELP!



子育ては人によって色々な
価値観がある。



子どもを育てるのは大変だから夫婦で話し合ったり、育児休業を取ったりして乗り越えることができると思う。

家族と毎日挨拶を交わしたり会話したりすることの大切さがわかった。

人に相談すること、無理をしないこと、休むことがとても大事だとわかった。



※ライフデザイン支援講座を受講した高校生のアンケート結果より抜粋しています。

ライフデザイン支援講座@千里青雲高校 「乳幼児交流会」

乳幼児やその保護者との交流を通して、子育てについて、自分の将来について考えるきっかけをつくる講座です。

はじめに、生徒のみなさんから紙芝居や手遊び歌などのお楽しみタイム。その後、グループに分かれて、乳幼児と触れあったり、保護者へ子育てについてインタビューしたり、リアルな子育てを感じる時間を過ごします。

普段、乳幼児と接する機会が少ない高校生にとって、貴重な経験ができる機会となっています。



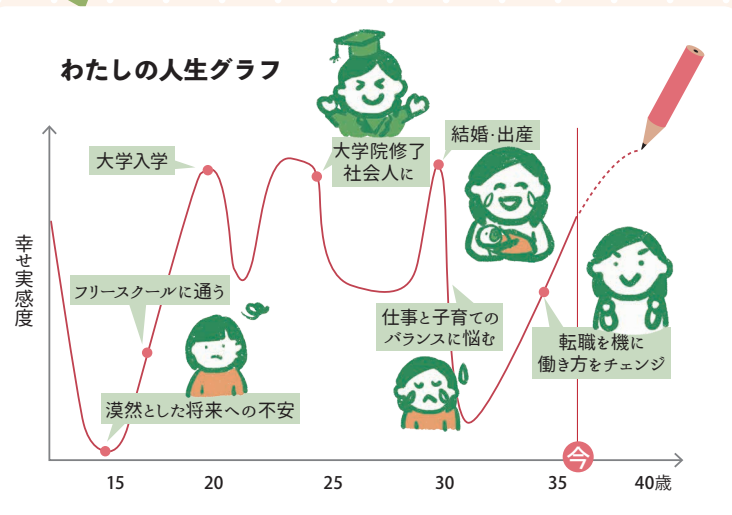
紙芝居発表の様子



かとう ようこ
加藤 陽子さん

NPO法人で働く地域公共政策士で1児の母。京都でユースワーカー※として従事した後、現在は主に豊中市内の子どもの居場所ネットワーク「いこっと」の事務局で勤務している。プライベートでも多世代型シェアリングを主催するなど、精力的に活動している。※若者の成長を手助けする専門スタッフ

やりたい気持ちを大切に 自分のペースでチャレンジする



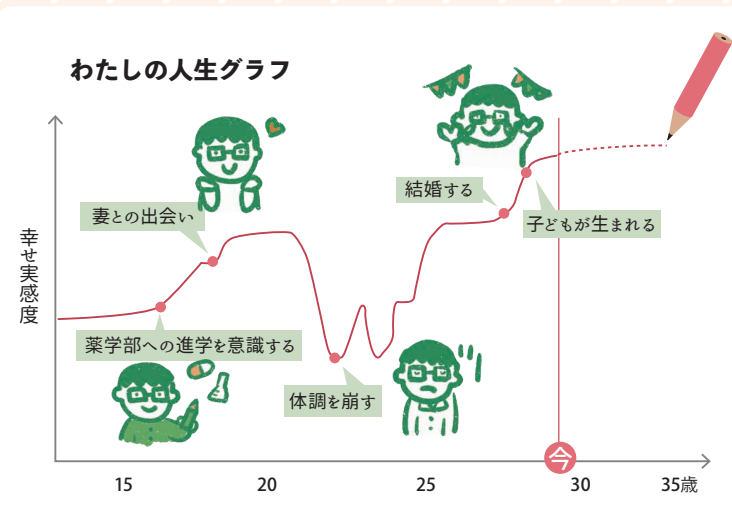
わたしのキーワード

地元愛

とりあえずやってみる

子どもの成長を楽しむ余裕を持つ

助け合いながら 子育てをしていきたい



わたしのキーワード

夫婦で子育て

一緒にスタート

バランスとメリハリ



まとは のぶまさ
的場 信匡さん

第1子の誕生を機に、勤務先で男性として初めて約1年間の長期育児休業を取得。育児休業中は日々子どもの成長を間近で感じ、夫婦で喜びや苦労を共有しながら二人三脚で育児を行っている。

今の職場は子どもの急病などがあっても休みやすく、とても働きやすい環境です。おかげで子どもにも向き合い、成長を喜んで、変化に気づいたりできる時間・機会を作ることができています。

最近、子どもが自分とは異なる見方・価値観を持つ人間なんだと改めて気づき、私の方が子どもから学ぶこともあり、そういう時は、親である自分も子どもに支えてもらっているな、と感じます。

子どもから学び
まえてもらうこともある



高校生の頃にNPOの活動に興味を持って、実際の市民活動に参加しました。この時の様々な人との出会いや、少しずつでも行動することで、社会が変わっていった体験が今につながっています。

大好きな地元・豊中で子育てしたいと思いついた人たちが、出会った人たちが、満たされた暮らしが共にできるようなと思うことが、今の自分の仕事の原動力になっています！

出会った人への想いが
行動の原動力に

育児休業を取得して一番良かったことは、妻と同時に育児をスタートできたことです。生まれてすぐの時期は妻も体が本調子ではないのに、1人で慣れない育児をしながら家事をして、夫に育児の仕方を教えていたら、心身ともに負担が大きかったと思います。今回、妻だけに負担をかけるのではなく、一緒に育児について調べ、悩み、助け合い、子どもの変化や成長を喜び合える時間が取れたことはとても貴重であったと思います。

また、両親の苦勞が理解できたことも、とても良かったと思っています。

今しかとれない
家族の時間を大切にしたい

結婚した時は子どもを持つたり、ましてや育児休業を取得したりする将来まで、具体的にイメージはしていませんでした。しかし義兄や会社の先輩男性が育児休業を取得する姿を近くで見えていたので、それをごく自然なものに感じていました。

そのため、いざ子どもができた時、私も妻も育児休業を取得することに迷いはありませんでした。私が「約1年間」という長期休業を取得したことで、今後社内での男性育児休業取得も進めばいいなと思っています。

自分達夫婦の中で父親の
育児休業取得は自然なこと

なんでも「やりたい」と思ったことは、**チャレンジ**してほしいです。

「向いてない」「思っていたものと違った」「失敗した」などもあるかもしれませんが、**やってみることで初めてわかることは大きい**と思います。失敗してもいいじゃない！

高校生の
みなさんへ



私が、今実現したいと思っているのは、豊中市に転入してきた人も妊娠期から多様なつながりを持ち、安心して出産し、切れめなく地域で子どもの育ちを見守ることができ、仕組みをつくることです。多世代型のシェアリングをしながら、もっと多様な人が出会えることがしたいと新たな挑戦をはじめました。

やっていくうちに形が変わるのはよくあることなので、「やりたい気持ちを大切に挑戦していきたいです。でも、無理しすぎないようにつづけることも大切にしたいと思っています。

やりたいことは変わらず
やりたい形が変わる

子育ては、確かに大変です。でも、**子どもが成長していく喜び**は大きく、自分の子どもはとってもかわいいです！
育児に限らず、パートナーや周囲と助け合える関係を大事にしてください。

高校生の
みなさんへ



私も妻も今後の職場復帰を見据え、仕事と育児、自分時間などのバランスについて考えはじめました。夫婦間で協力して互いの自分時間を捻出することも大切ですが、保育園のサポートや親・兄弟等、周りにうまく頼ることも大事だと思っています。

また、人生も長い目で見ると「子育てをする時期」「仕事ややりたいことを頑張る時期」などメリハリをつけてもいいと思います。私の場合、子どもに全力で向き合う期間は、1年間でも短いと感じています！

周りも頼りつつ、
バランスやメリハリを考える